

## 町民と議員のタウンミーティング in 川島区 まとめ

プロジェクトリーダー 津谷 彰

日時：令和6年11月7日(木) 午後7時

場所：下横川営農センター

参加人数：議員14名 川島区民19名



### 【要約】

#### 1. 消防団、奉仕団の現状と課題

- 川島区の消防団は深刻な人員不足に直面しており、定員30名に対し実際に活動できるのは10名程度。
- 他の地区でも同様の問題があり、再編や機能別消防団員制度の導入が検討されている。
- 消防団の存続のため、地域住民の協力や若者の参加促進が必要。
- 高齢化や、再任など奉仕団員なりて不足、地域ボランティアの協力や、活用が必要。

消防団の問題では、川島第2分団の深刻な人員不足を指摘し、他の地域の状況について質問が出る。議員から第8分団の状況を説明や、全体的な消防団員数の減少傾向を報告した。再編の必要性を強調し、機能別消防団員制度の導入を提案した。奉仕団についても同様の趣旨の課題があり、議員からは従来よりもスリム化されていることや、再編が必要という理解を示した。

#### 2. 高齢者福祉と孤立死問題

- 川島区の高齢化率は53.5%と非常に高く、孤立死や孤独死が発生している。
- 民生委員や地域住民による見守り活動の重要性が指摘された。
- 新技術(スマートウォッチなど)を活用した見守りシステムの導入が提案された。

高齢者の孤立死問題については、実際に起きた事例を挙げ、行政の対応の遅れが指摘された。議員からは、高齢化率の高さを指摘し、個別のケアの必要性を強調した。また、プライバシーの問題を指摘し、近所づきあいの重要性を訴えた。

#### 3. 産業振興と人口減少対策

- 企業誘致の困難さや既存企業の撤退による税収減少が課題として挙げられた。
- 若者向けの雇用創出や移住者の意見聴取の重要性が指摘された。

企業誘致と経済発展については、辰野町の企業数の少なさと税収の減少を指摘し、より積極的な企業誘致を求めた。議員からは、辰野町の地理的制約を説明し、現在の取り組みについて報告した。

#### 4. 川島小学校の閉校と跡地利用

- 2024年3月に閉校が決定しているが、跡地利用の具体的な計画がまだ決まっていない。

- 地域活性化のための新しい組織と連携しながら、跡地利用を検討する必要性が指摘された。

川島小学校の閉校後の利用については、検討委員会の設置の遅れを指摘し、早急な対応を求めた。議員からは、「議会一般質問で、町は地元の検討を優先する」旨の答弁があり、先ずは、地元検討を見守ってきた経過があるが、町側と協力して進めていく必要性を強調した。

◇会議全体を通じて、住民の切実な思いと議員の認識のずれが指摘され、より密接な連携と迅速な対応の必要性が確認された。また、川島区が直面する様々な課題が明らかになり、今後の対策に向けた議論の基礎が築かれた。

#### 【ポイント】

- 地域の課題に対して、行政と住民が協力して取り組む必要性が強調された。
- 高齢化や人口減少に対応するため、新たな技術や制度の導入が求められている。
- 議会と住民のコミュニケーションを強化し、地域の声をより反映させる必要性が指摘された。

#### 【ディスカッションから見える今後の研究項目】

- ・ 消防団の再編と機能別団員制度の導入
- ・ 川島小学校の跡地利用について早急な検討委員会の立ち上げ
- ・ 高齢者の見守りシステムを改善し、スマートウォッチなどのテクノロジーの活用
- ・ 企業誘致や産業振興策の強化と、町の税収増加
- ・ 若者や移住者の意見を積極的に取り入れた、町の活性化策
- ・ 地域の支え合いマップの作成方法を改善し、より実態に即したものに
- ・ 孤立死・孤独死防止のための新たな対策
- ・ 町の魅力発信や観光振興策の効果的な方法を模索

以上